



Cisco DNA Spaces を使用するための Cisco Meraki の設定

この章では、Cisco DNA Spaces を使用するために Cisco Meraki に必要な設定について説明します。

- [Cisco Meraki サービスアカウントの設定 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Meraki での SSID の有効化 \(2 ページ\)](#)
- [RADIUS 認証用の Cisco Meraki の設定 \(3 ページ\)](#)
- [通知およびレポート用 Cisco Meraki の設定 \(5 ページ\)](#)
- [ソーシャル認証のための Cisco Meraki の設定 \(6 ページ\)](#)
- [Cisco Meraki の SSID の手動設定 \(6 ページ\)](#)
- [Cisco Meraki でのスキャン API の設定 \(7 ページ\)](#)

Cisco Meraki サービスアカウントの設定

組織、ネットワーク、AP などの Meraki ネットワークの詳細は、Meraki サービスアカウントを使用して取得し、Cisco DNA Spaces に提供できます。

このサポートを利用するには、Meraki カスタマーアカウントから Meraki サービスアカウントを招待する必要があります。Meraki サービスアカウントの電子メール ID については、Cisco DNA Spaces サポートチームにお問い合わせください。



(注)

- ただし、Cisco DNA Spaces を Cisco Meraki に接続するには、引き続き Meraki カスタマーアカウントを使用する必要があります。お客様の Meraki アカウントは、ユーザーがアクセス可能なロケーション階層にネットワークをインポートするために使用されます。サービスアカウントは、ロケーション階層を最新の状態に保つためのバックグラウンドネットワーク同期に使用されます。
- Cisco Meraki は Cisco DNA Spaces に含まれていないため、メニューパスおよびメニュー名は変更される場合があります。

Cisco Meraki で Cisco Meraki サービスアカウントを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 <https://meraki.cisco.com> に移動します。
- ステップ 2 Cisco Meraki アカウントのログイン情報を使用してアプリケーションにログインします。
- ステップ 3 [Cisco Meraki Organization] ドロップダウンリストから、Meraki サービスアカウントを設定する組織を選択します。
- ステップ 4 [Organization] > [Administrators] > [Add Admin] を選択します。
- ステップ 5 Cisco Meraki サービスアカウントの名前と電子メール ID を入力します。
- ステップ 6 [Organization Access] ドロップダウンリストから [Full] を選択します。
- ステップ 7 [Create Admin] をクリックします。

これで、フィルタリングされた組織に対して Cisco Meraki サービスアカウントが設定されました。

Cisco Meraki での SSID の有効化

SSID をキャプティブポータルルール用に設定するために Cisco DNA Spaces にインポートするには、それらの SSID を Cisco Meraki で有効にする必要があります。



- (注) Cisco Meraki は Cisco DNA Spaces に含まれていないため、メニューパスおよびメニュー名は変更される場合があります。

Cisco Meraki で SSID を有効にするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 <https://meraki.cisco.com> に移動します。
- ステップ 2 Cisco Meraki アカウントのログイン情報を使用してアプリケーションにログインします。
- ステップ 3 SSID を有効にする必要のある [Cisco Meraki Organization] をクリックし、必要なネットワークを選択します。
- ステップ 4 [Wireless] > [Configure] > [SSIDs] の順に選択します。
ネットワークで使用可能な SSID が表示されます。
- ステップ 5 SSID の名前を変更して有効にします。
- ステップ 6 [Edit Settings] をクリックし、[Splash] ページオプションで [Click-Through] オプションボタンをクリックします。
- ステップ 7 [Save Changes] をクリックします。

SSID が Cisco Meraki で正常に有効化されました。

RADIUS 認証用の Cisco Meraki の設定

ポータルにより多くのセキュリティを提供するために、Cisco DNA Spaces はポータルに RADIUS 認証を提供します。また、キャプティブポータルルールを使用して設定できるシームレスなインターネットプロビジョニングを管理するには、Cisco Meraki で特定の設定が必要です。

シームレスなインターネットプロビジョニングを設定するときに必要な Radius サーバー設定は、標準の Radius サーバー設定とは異なります。

RADIUS 認証用の Cisco Meraki の設定（シームレスなインターネット設定なし）

RADIUS 認証用に Cisco Meraki を設定するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Meraki のログイン情報で Cisco Meraki にログインします。
- ステップ 2** [Wireless Access Control] を選択します。
- ステップ 3** キャプティブポータルルールの SSID を選択します。
- ステップ 4** [Association requirements] エリアで、[Open] を選択します。
- ステップ 5** [Splash page] エリアで [Sign-on with] を選択し、ドロップダウンリストから [my RADIUS server] を選択します。
- ステップ 6** [Radius servers] エリアで [Add a server] をクリックし、表示されたフィールドに認証のための RADIUS サーバーの詳細を指定します。
- ポート : 1812
- (注) Cisco DNA Spaces RADIUS サーバーのみを設定できます。RADIUS サーバーの IP アドレスと秘密鍵を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[SSIDs] ページの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。
- ステップ 7** [Radius accounting] ドロップダウンリストから、[Radius Accounting is enabled] を選択します。
- ステップ 8** [Radius accounting servers] エリアで、[Add a server] をクリックし、表示されたフィールドにアカウントिंगのための RADIUS サーバーの詳細を指定します。
- ポート : 1813
- (注) Cisco DNA Spaces の Radius サーバーのみを設定できます。Cisco DNA Spaces RADIUS サーバーのみを設定できます。RADIUS サーバーの IP アドレスと秘密鍵を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[SSIDs] ページの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。
- ステップ 9** ウォールガーデンの範囲を設定します。ウォールガーデンの範囲を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、SSID ページの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。

ステップ 10 変更内容を保存します。

RADIUS 認証およびシームレスなインターネット プロビジョニングのための Cisco Meraki の設定

Radius 認証およびシームレスなインターネット プロビジョニング向けに Cisco Meraki を設定するには、Cisco Meraki で次の設定を行います。

ステップ 1 Meraki のログイン情報で Cisco Meraki にログインします。

ステップ 2 [Wireless] > [Access] > [Control] の順に選択します。

ステップ 3 キャプティブ ポータル ルールの SSID を選択します。

ステップ 4 [Association requirements] 領域で、[Mac-based access control (no encryption)] を選択します。

ステップ 5 [Splash] ページ領域で、[Click-through] を選択します。

ステップ 6 [Radius servers] エリアで [Add a server] をクリックし、表示されたフィールドに認証のための RADIUS サーバーの詳細を指定します。

- ポート : 1812

(注) Cisco DNA Spaces の Radius サーバーのみを設定できます。RADIUS サーバーの IP アドレスと秘密鍵を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[SSIDs] ページの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。

ステップ 7 [Radius accounting] ドロップダウンリストから、[Radius Accounting is enabled] を選択します。

ステップ 8 [Radius accounting servers] エリアで、[Add a server] をクリックし、表示されたフィールドにアカウントिंगのための RADIUS サーバーの詳細を指定します。

- ポート : 1813

(注) Cisco DNA Spaces RADIUS サーバーのみを設定できます。RADIUS サーバーの IP アドレスと秘密鍵を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[SSIDs] ページの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。

ステップ 9 [Radius attribute specifying group policy name] ドロップダウンリストから、[Filter-Id] を選択します。

ステップ 10 変更内容を保存します。

ステップ 11 Cisco Meraki ダッシュボードで、[Network-wide Group Policies] をクリックします。

ステップ 12 [Add a Group] をクリックします。

ステップ 13 表示される [New group] ウィンドウに、グループの名前を入力します。

(注) Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、この名前をポリシー名として設定する必要があります。グループ名を「CaptiveBypass」と指定する場合、このポリシー名はすべてのキャプティブポータルルールデフォルトのポリシー名として機能します。つまり、[Seamlessly Internet Provision] が選択されるキャプティブポータルルールに対してポリシー名を指定しない場合、ポリシー名「CaptiveBypass」がこのルールに対して適用されます。

- ステップ 14** [Bandwidth] ドロップダウンリストから必要なオプションを選択し、顧客にプロビジョニングするインターネットの帯域幅を指定します。
- ステップ 15** [Splash] ドロップダウンリストから [Bypass] を選択します。
- ステップ 16** [Apply] をクリックします。
- ステップ 17** ウォール ガーデンの範囲を設定します。ウォール ガーデンの範囲を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、SSID ページの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。

通知およびレポート用 Cisco Meraki の設定

Cisco DNA Spaces を使用して通知を送信し、Cisco DNA Spaces レポートを表示するには、Cisco Meraki で特定の設定を行う必要があります。



(注) Meraki ネットワークロケーションをロケーション階層にインポートすると、通知 URL が Cisco Meraki で自動的に設定されます。このサポートは、Meraki API キーを使用して追加された Meraki ネットワークには適用されません。

Cisco DNA Spaces を使用して通知を送信する、または Cisco DNA Spaces のレポートを表示するために Cisco Meraki を手動で設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Cisco Meraki アカウントのログイン情報を使用して Meraki にログインします。
- ステップ 2** SSID を有効にする必要のある組織をクリックし、必要なネットワークを選択します。
- ステップ 3** [Network-wide] > [Configure] > [General] の順に選択します。
- ステップ 4** [CMX] 領域で、次の手順を実行します。
- [Analytics] ドロップダウンリストから、[Analytics is enabled] を選択します。
 - [Scanning API] ドロップダウンリストから、[Scanning API enabled] を選択します。
 - [Add a Post URL] をクリックし、それぞれのフィールドに POST URL の詳細を入力します。
- 投稿 URL の詳細を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[SSIDs] ウィンドウの Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。
- ステップ 5** [Save Changes] をクリックします。

ソーシャル認証のための Cisco Meraki の設定

Cisco Meraki でソーシャル認証を行うには、meraki.cisco.com に一定の設定をする必要があります。

ソーシャル認証のために Cisco Meraki を設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco Meraki ダッシュボードで、[Wireless] > [Configure] > [Access Control] の順に選択します。

[Access Control] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [SSID] ドロップダウンリストから、ソーシャル認証を設定する SSID を選択します。

ステップ 3 [Wall Garden Ranges] フィールドに、次の表にリストされているソーシャルネットワークのドメイン名を入力し、[Save Changes] をクリックします。

表 1: ソーシャルネットワークのドメイン名

Facebook	Twitter	LinkedIn	Instagram
*.facebook.com	*.twitter.com	*.linkedin.com	instagram.com
*.fbcdn.net	*.twimg.com	*.licdn.net	*.instagram.com
*.akamaihd.net		*.licdn.com	api.instagram.com
*.connect.facebook.net			d36xtkk24g8jdx.cloudfront.net
			www.facebook.com
			connect.facebook.net
			*.akamaihd.net

Cisco Meraki のソーシャル認証が正常に設定されます。

Cisco Meraki の SSID の手動設定

Meraki で SSID を手動設定するには、まずその SSID を Cisco DNA Spaces にインポートする必要があります。詳細については、「Cisco Meraki の SSID のインポート」のセクションを参照してください。

Meraki で SSID を手動設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco Meraki アカウントのログイン情報を使用して Meraki にログインします。

ステップ 2 それぞれのドロップダウンリストから必要な Meraki 組織およびネットワークを選択します。

ステップ 3 [Wireless] > [Access Control] の順に選択します。

- ステップ 4** [SSID] ドロップダウンリストから、Cisco DNA Spaces に設定する SSID を選択します。
- ステップ 5** [splash] ページ領域で、[Click-through] を選択します。
- ステップ 6** [Wall garden] ドロップダウンリストから、[Wall garden is enabled] を選択します。
- ステップ 7** [Wall garden ranges] テキストフィールドに、必要なウォールガーデンの範囲を入力します。
ウォールガーデンの範囲を表示するには、Cisco DNA Spaces ダッシュボードで、[SSIDs] ウィンドウにある Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。
- ステップ 8** [Save Changes] をクリックします。
- ステップ 9** [Wireless] > [Splash page] を選択します。
- ステップ 10** 以前に指定された SSID に対しては、[Custom Splash URL] エリアで、[Or provide a URL where customers will be redirected] を選択するか、隣接するフィールドにスプラッシュ URL を入力します。
Meraki SSID のスプラッシュページ URL を生成して表示するには、次の手順に従います。
- [Home] > [Captive Portals] > [SSIDs]** をクリックして、Meraki SSID を Cisco DNA Spaces にインポートします。
Cisco DNA Spaces ダッシュボードにスプラッシュページの URL が生成されます。
 - [SSIDs] ページで、目的の Meraki SSID の [Configure Manually] リンクをクリックします。
選択した Meraki SSID のスプラッシュページ URL が表示されます。
- ステップ 11** [Splash Behavior] エリアで、[Where should users go after the splash page] にある [The URL they were trying to fetch] オプションボタンをクリックします。
- ステップ 12** [Save Changes] をクリックします。
- ステップ 13** Cisco DNA Spaces で使用するすべての SSID について、ステップ 3 ~ 12 を繰り返します。

次のタスク

Cisco Meraki でのスキャン API の設定

Meraki カメラを使用するには、Cisco Meraki でスキャン API を設定する必要があります。

Cisco Meraki でスキャン API を設定するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco Meraki アカウントのログイン情報を使用して <https://meraki.cisco.com> にログインします。
- ステップ 2** [Networkwide] > [General] の順に選択します。
- ステップ 3** [Location and Scanning] エリアで、次の手順を実行します。
- [Analytics] ドロップダウンリストから、[Analytics enabled] を選択します。
 - [Scanning API] ドロップダウンリストから、[Scanning API enabled] を選択します。
 - ポスト URL を追加します。
 - [Post URL] フィールドに、ポスト URL を入力します。

- [Secret Key] フィールドに、Cisco Meraki クラウドからの JSON ポストを検証するために HTTP サーバーが使用する秘密鍵を入力します。
 - (注) Cisco DNA Spaces ダッシュボードの **[Setup]** > **[Camera]** の [Connect your Meraki Camera] ウィンドウから、ポスト URL と秘密鍵をコピーできます。
- [API Version] ドロップダウンリストから、HTTP サーバーが受信して処理できるロケーション API バージョンを選択します。

ステップ 4 JSON オブジェクトを受信するように HTTP サーバーを設定し、ホストします。

ステップ 5 最初の接続時に、Cisco Meraki クラウドは、組織の ID が Cisco Meraki の顧客であることを確認します。次に、Cisco Meraki クラウドが JSON の送信を開始します。
